

---

第 32 回  
日本家族社会学会大会  
プログラム

---

2022年9月3日（土）・4日（日）

開催校・会場：日本女子大学（目白キャンパス）

# 大会日程

会場：日本女子大学（目白キャンパス）

▼第1日 2022年9月3日（土） 受付開始 09:15～ 香雪館 2F

10:00～12:30	テーマセッション(1) 近世末における家族の標準化—歴史人口学の成果 テーマセッション(2) 質的データからみる性的マイノリティと家族の現在 —研究の困難・研究と困難  自由報告(1) ① 意思決定・ネットワーク	香雪館 205 教室 香雪館 204 教室  香雪館 203 教室
12:30～14:00	昼休み	
14:00～16:00	テーマセッション(3) 量的データからみる性的マイノリティと家族の現在 —研究の困難・研究と困難 開催校企画テーマセッション 女性の再就職には何が必要か 自由報告(2) ② ケア・ケアラー ③ 結婚・夫婦	香雪館 204 教室 香雪館 205 教室 香雪館 203 教室 香雪館 304 教室
16:15～17:15	総会	香雪館 202 教室
17:15～17:30	学会賞授賞式	香雪館 202 教室
17:40～18:40	交流会	120年館 1階ピロティ ・B1階パティオ

▼第2日 2022年9月4日（日） 受付開始 08:45～ 香雪館 2F

9:15～10:45	テーマセッション(4) 森岡家族社会学の総括と継承 自由報告(3) ④ 子どもの教育 ⑤ 家族とは何か ⑥ ジェンダー・女性	香雪館 202 教室 香雪館 205 教室 香雪館 204 教室 香雪館 203 教室
11:00～13:00	自由報告(4) ⑦ 性別役割分担 ⑧ 妊娠・出産 ⑨ 母親の就業・専業主婦	香雪館 205 教室 香雪館 204 教室 香雪館 203 教室
13:00～14:00	昼休み	
14:00～16:30	シンポジウム:性的マイノリティと家族研究	成瀬記念講堂

※ 今大会では懇親会は開催しませんが、無料の交流会を開催予定です。  
 (Web上で参加登録時に参加有無を選択ください)

# 大会プログラム

第1日目 9月3日(土)

受付時間(香雪館2F) 9:15~

午前の部 10:00~12:30

## テーマセッション(1)

### 近世末における家族の標準化—歴史人口学の成果(香雪館205教室)

オーガナイザー 平井晶子(神戸大学)  
司会 中里英樹(甲南大学)  
討論者 池岡義孝(早稲田大学)

- (1)-1 徳川時代の人口—家族システムの地域的多様性と日本  
家族モデルの誕生 落合恵美子(京都大学)
- (1)-2 標準化する家族とライフコース—近代移行期を中心に 中島満大(明治大学)
- (1)-3 日本の近代化と家の展開—先祖祭祀の変化を中心として 森本一彦(高野山大学)
- (1)-4 【報告キャンセル】近世の家と近代の家—持続と変容— ~~平井晶子(神戸大学)~~

## テーマセッション(2)

### 質的データからみる性的マイノリティと家族の現在—研究の困難・研究と困難(香雪館204教室)

オーガナイザー 志田哲之(早稲田大学)  
司会 釜野さおり(国立社会保障・人口問題研究所)  
討論者 平森大規(法政大学)

- (2)-1 非性別二元論的なパートナー関係の形成  
—Xジェンダー当事者の事例から— 武内今日子(東京大学・院)
- (2)-2 性的マイノリティの生活困難調査の困難 志田哲之(早稲田大学)
- (2)-3 Co-Parentingをめぐる議論の論点整理の試み—セクシュアル  
マイノリティの子育てについての英語圏の文献を参考に 有田啓子(立命館大学)
- (2)-4 家族という困難—HIVとともに生きる性的少数者へ／との調  
査から— 大島 岳(明治大学)

## 自由報告(1)

### ①意思決定・ネットワーク(香雪館203教室)

司会 安達正嗣(高崎健康福祉大学)

- ①-1 1930年代の都市近郊農家にみる跡取り16歳時の選択とその帰結  
福岡県下6農家の事例分析 前田尚子(名古屋市立大学)
- ①-2 地方高校生の移住・定住志向と家族—島根県での調査結果を  
もとに— 片岡佳美(島根大学)
- ①-3 子育て世代のパーソナルネットワーク—紐帯種別による機能  
の使い分け 荒牧草平(大阪大学)
- ①-4 中国地方都市における老親扶養をめぐるきょうだい間の  
「せめぎあい」—きょうだいを持つ経済的に安定  
している中年男性の語りより— 李 姝(中央大学・院)

昼食・委員会 12:30~14:00

午後の部 14:00~16:00

### テーマセッション(3)

#### 量的データからみる性的マイノリティと家族の現在—研究の困難・研究と困難（香雪館 204 教室）

オーガナイザー

釜野さおり（国立社会保障・人口問題研究所）

司会

志田哲之（早稲田大学）

討論者

神谷悠介（中央大学）／松田和樹（早稲田大学）

(3)-1 量的調査における性的マイノリティの諸課題

平森大規（法政大学）

(3)-2 LGBT 人口の意識・行動と関連要因：日米のマイクロデータの比較分析を中心に

小島 宏（早稲田大学）

(3)-3 同性カップルの生活と関係性の計量分析の試み—法律婚・事実婚との比較から—

釜野さおり（国立社会保障・人口問題研究所）

神谷悠介（中央大学）

コー ダイアナ（法政大学）

### 開催校企画テーマセッション

#### 女性の再就職には何が必要か（香雪館 205 教室）

オーガナイザー

永井暁子（日本女子大学）

司会・コメンテーター

坂本清恵（日本女子大学）

1 既婚女性の再就職タイミングの変化と要因

梶 逸君（日本女子大学・院）

2 ポストコロナ時代におけるシングル女性の就業変化と支援—川崎市におけるコロナ禍でのシングル女性に対する影響調査の結果から—

江 天瑤（お茶の水女子大学）

3 NPO法人に再就職した女性のキャリア形成—アンケート調査の分析を通じて—

鈴木紀子（日本女子大学）

4 育児期の女性の再就職支援

永井暁子（日本女子大学）

### 自由報告(2)

#### ②ケア・ケアラー（香雪館 203 教室）

司会 税所真也（東京大学）

②-1 ケアを狂わすもうひとつのベクトル

戸井田晴美（一橋大学・院, 日本学術振興会）

②-2 保育所の親子分離時の対処方略と保育効力感との関連

加藤邦子（浦和大学）

②-3 ヤングケアラーと病気のある親の家族関係—元ヤングケアラーの語りの分析から—

長谷川拓人（成蹊大学・院）

②-4 従属的位置付けに置かれた男性当事者へのケア

杉野衣代（お茶の水女子大学）

#### ③結婚・夫婦（香雪館 304 教室）

司会 鈴木富美子（大阪大学）

③-1 内モンゴル東部農村地域におけるモンゴル人男性の結婚難問題—結婚準拠枠を手がかりに—

鳥 英嘎（中央大学・院）

③-2 中国のポスト青年期高学歴独身女性の結婚意識—北京のインタビュー調査を通して—

郭 麗娟（お茶の水女子大学）

③-3 異質な近代化：EASS 2016 による日本と中国の配偶者選択の分析

李 雯雯（立命館大学・院）

③-4 結婚における性生活の役割—性生活満足度の規定要因と帰結に関する実証分析から—

木村裕貴（東京大学・院）

総会（香雪館 202 教室）

16:15~17:15

学会賞授賞式（香雪館 202 教室）

17:15~17:30

## 第2日目 9月4日（日）

受付時間（香雪館2F）

8:45~

午前の部1

9:15~10:45

テーマセッション(4)

森岡家族社会学の総括と継承（香雪館202教室）

オーガナイザー・司会 池岡義孝（早稲田大学）

討論者

藤崎宏子（元お茶の水女子大学）

(4)-1 森岡清美の経歴と研究業績の概観

石原邦雄（元東京都立大学・成城大学）

(4)-2 森岡清美の現代家族研究

稲葉昭英（慶應義塾大学）

(4)-3 森岡清美の「家」研究からの示唆—真宗教団と華族社会に関する研究を中心に—

米村千代（千葉大学）

自由報告(3)

④子どもの教育（香雪館205教室）

司会 荒牧草平（大阪大学）

④-1 母親役割の主観的比重における段階的変化—子どもの生活自立と学業達成への期待と促進行動に着目して—

花形美緒（お茶の水女子大学）

④-2 日本における祖父母との接触が子どもの教育達成におよぼす影響

石橋 挙（専修大学・院）

④-3 子どもの学習支援教室における家族規範と教育規範に関する一考察—学習支援スタッフへのインタビュー調査から—

松村智史（東京都立大学）

⑤家族とは何か（香雪館204教室）

司会 野田潤（東洋英和女学院大学）

⑤-1 家族のミライ・ミライの家族

原 俊彦（札幌市立大学）

⑤-2 児童養護施設で暮らす子どもが語る家族—中学生へのインタビューから—

宇田智佳（大阪大学・院）

⑤-3 日本都市家庭の食生活と家族愛

鄧 曉凡（哈爾濱師範大学・院）

⑥ジェンダー・女性（香雪館203教室）

司会 山根真理（愛知教育大学）

⑥-1 生活時間におけるジェンダー不平等の再検討

柳下 実（佛教大学）

⑥-2 家族から社会的包摂を考える：世帯構造のジェンダー格差に着目して

白波瀬佐和子（東京大学）

⑥-3 妻の就業状態の変化と夫婦合算所得の不平等—就業構造基本調査・個票データを用いた分析—

尾嶋史章（同志社大学）

⑥-4 【報告キャンセル】テレビコマーシャルから見る戦後の日本女性—イメージの変容—1960年代—1990年代の資生堂の広告を中心に—

趙—一丁（哈爾濱師範大学・院）

午前の部2

11:00~13:00

自由報告(4)

⑦性別役割分担（香雪館205教室）

司会 平尾桂子（上智大学）

⑦-1 自営業 / 家族従事者における主観的ウェルビーイングの規定要因—自営業における性別役割仮説生成のための探索的分析—

山崎智慧子（一橋大学・院）

梁 昊（一橋大学大学・院, 学術振興会特別研究員）

- ⑦-2 母親の就業と父親の家事・育児参加—夫の性別役割分業意識に着目して— 藤原眞緑（日本女子大学・院）
- ⑦-3 成人期への移行過程 7 カ国比較：役割構造と規範構造 笹野美佐恵（ソウル大学校アジア研究所）  
李 相直（国会未来研究院）
- ⑦-4 【報告キャンセル】男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症影響下における仕事・生活に関する調査結果からの考察 服部良子（大阪市男女共同参画センター—クレオ大阪中央—）  
中村聡衣（一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会）

### ⑧妊娠・出産（香雪館 204 教室）

- ⑧-1 理想子ども数が未婚者の初婚タイミングに与える効果 司会 小島 宏（早稲田大学）  
松田茂樹（中京大学）
- ⑧-2 雇用の不安定化と結婚出産の遅れ・再考—男性の経歴のコーホート比較— 麦山亮太（学習院大学）
- ⑧-3 少子化過程における夫婦の妊娠動向：妊娠前意図を考慮した妊娠数、流死産／人工妊娠中絶、出生 守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）  
岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）
- ⑧-4 【報告キャンセル】サロガシーで近代家族は改変しない 佐野俊幸

### ⑨母親の就業・専業主婦（香雪館 203 教室）

- ⑨-1 共働きの母親における食事作りの役割意識 司会 磯部 香（高知大学）  
児島あゆみ（お茶の水女子大学・院）
- ⑨-2 Private Supplementary Education as Parenting Outsourcing (and Great Equalizer)? 打越文弥（プリンストン大学・院）
- ⑨-3 Married Woman Who Become Housewife: A Study Based on CGSS2012 李 睿（九州大学・院）
- ⑨-4 対立と協調—中国「専業主婦」の母親規範と役割行動の葛藤に関する考察 鄭 楊（中国哈爾濱師範大学）

### 昼食・委員会

13 : 00~14 : 00

### 午後の部

14 : 00~16 : 30

### シンポジウム

#### 性的マイノリティと家族研究（成瀬記念講堂）

- 性的マイノリティと／の／が家族 森山至貴（早稲田大学）
- SOGI に敏感な視点による家族研究に向けて—異性愛とシスジェンダーの脱普遍化— 大山治彦（四国学院大学）
- セクシュアリティをめぐる家族の抑圧と解放—インターセクショナル리티の視点から— 元山琴菜（北陸先端科学技術大学院大学）
- トランスジェンダーと性の権利—ニーズ基盤型から人権基盤型アプローチによる議論に向けて— 東 優子（大阪公立大学）

## 連絡事項

### 大会参加登録(事前登録が必要です)

大会参加を希望される会員は、**事前に参加登録と参加費の納付が必要です**。今大会は、事前参加登録のみで当日参加登録はありませんので、ご注意ください。

日本家族社会学会第 32 回大会ホームページから登録してください。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字 8 桁；上 4 桁は数字の 0、下 4 桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

大会参加費	一般会員：3,500 円
	学生・会費減額申請が承認された会員：2,500 円
	非会員一般：3,500 円
	非会員学生：2,500 円

- **一般会員/学生会員/減額会員の方**

第 32 回大会では Web 上での参加登録及び、決済方法は**カード支払い(クレジット決済)**のみとなります。大会参加に関する期限は、次のとおりです。

参加登録・支払い方法	参加登録・支払い期限
Web による参加登録 +カード支払い	8 月 29 日(月) 14 時まで

#### カード決済方法について

Web 上で参加登録される際に、決済されるカードのカード所有者名、カード番号、有効期限をご入力ください。Web 上での参加登録と参加費支払いが同時に完了となります。参加登録及び決済が完了すると、「日本家族社会学会第 32 回大会「参加登録」受付通知」の件名で完了をお知らせする通知メールが自動配信されます。尚、カード明細には「国際文献事務センター」と表示されます。

**※領収書は、当日会場で名札兼領収書の形式でお渡しします。**

**※参加登録期限を厳守してください。期限を過ぎても参加登録は受付できません。また、いかなる理由でも、参加費は払い戻しません。**

- **減額会員の方**

常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は 2022 年 5 月 31 日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ適用となります。

- **非会員の方**

非会員の方は、Web 上の申し込みはできません。大会ホームページより、非会員専用の参加申込申請フォーム（Excel 形式）に必要事項を記入の上、ヘルプデスク<jsfs-desk@conf.bunken.co.jp>までメール添付で提出してください（大会ヘルプデスクへの提出期間：7 月 1 日（金）～8 月 23 日（火）14 時）。ヘルプデスクより参加費納入先をご案内します。非会員の方の参加費は、一般 3,500 円、学生 2,500 円です。なお、現代女性キャリア研究所と共催の公開シンポジウムのみ参加希望の非会員の参加費は無料です。

## その他の注意事項

- **報告要旨集**  
報告要旨集は**電子版の Web 要旨集のみ**となります。Web 要旨集は、大会 HP 上で 8 月 24 日（水）公開予定です。大会当日、会場でのダウンロードはサーバーにつながりにくくなることが想定されるため、**できるだけ事前にダウンロードしてからご参加ください。**
- **交流会**  
大会第 1 日目（9 月 3 日）総会終了後 17：40～18：40 に、120 年館 1 階ピロティ・B1 階パティオ（悪天候時変更有）にて交流会を開催します。多くの会員と交流するチャンスです。ぜひともご参加ください。（参加費は無料ですが、参加登録時に参加有無をご選択ください。）
- **昼食**  
両日とも、事前にお弁当購入の申し込みを受け付けます。大会申し込みとは異なる申し込み Web サイトを設けますので、そちらからお申し込みの上、当日お弁当お受け取りの際に、現金でお支払いください。近隣のレストランやコンビニは数が限られており、レストランは休日休業のところもございますのでご注意ください。
- **宿泊**  
宿泊につきましては、各自で予約してください。**宿泊施設は混雑が予想されます。お早めにご手配ください。**

## 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告（口頭）の**報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分**です。報告者と司会者は、セッション開始 10 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかんにかかわらず、この時間に集合し、配布資料を会場系の学生にお渡しください。
- **大会当日の配布資料**  
報告資料は、オンライン上にアップしてください。詳細は別途お知らせします。**当日配布を希望する方は、各自で用意してください。**その際の目安は、自由報告（口頭）は 50 部、テーマセッションは 80 部です。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。配布資料が余った場合は、部会終了後、会場系の学生が「残部コーナー」（120 年館 B1 階 12001 教室 会員控室）に移してくれますので、部会に参加できなかった参加者にも読んでいただくことができます。「残部コーナー」に移された資料は、2 日目の 16 時 45 分までにお引き取りがなければ、大会事務局にて廃棄します。
- **自由報告（口頭）・テーマセッションの司会者の方へのお願い**  
参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- **PowerPoint 等の使用に関する注意事項**
  - a. 報告会場となるすべての教室では、教卓にノート型パソコン（Windows, Microsoft Office）が備え付けてあります。
  - b. Microsoft-Power Point の pptx もしくは ppt 形式、あるいは PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
  - c. **機器を使用する報告者**は、部会**開始 15 分前**に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
  - d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
  - e. どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用する場合、開催校では HDMI ケーブルによる接続となります。
  - f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

## 大会期間中の託児室の設置

- 今大会ではコロナの感染状況の影響を鑑み、残念ながら保育サービスをご用意することができません。ご理解ください。



## 大会期間中の学内無線 LAN の利用

- 学内 Wi-Fi については、国際無線 LAN ローミング基盤 eduroam（提携校）のみ利用可能です。ご所属で eduroam についてご確認いただくか、Web サイト <https://www.eduroam.jp/> でご確認のうえ、大会参加前に所属先で登録の手続きをお済ませください。

## その他

- 例年同様、出版社による書籍・雑誌の展示・販売コーナーを開設します。申し込み・問い合わせは大会実行委員会事務局宛にメールにてご連絡ください。
- 例年同様、抜き刷り交換コーナーを設けます。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ（<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2022/index.html>）にも同様の内容を掲載しています。

## 会場案内

### 【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：日本女子大学目白キャンパス

住所：〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 百二十年館 3階 309号室

日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 永井暁子研究室内

Tel.03-3943-3131（大学代表） メールアドレス：jsfs-taikai@bunken.co.jp

大会本部（大会当日）：香雪館 201 教室

### 【会場へのアクセス】

目白キャンパス：<https://www.jwu.ac.jp/unv/access.html>

☆JR 山手線「目白」駅

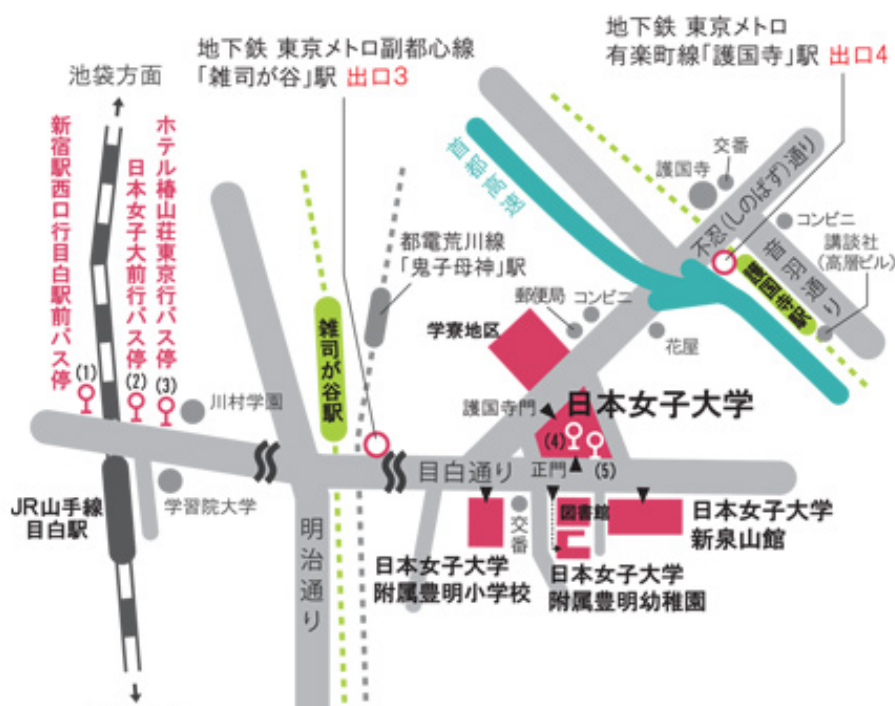
徒歩：約 15 分

バス：約 5 分 都営バス（白 61）新宿駅西口行き、またはホテル椿山荘東京行き「日本女子大前」下車  
（夏休み中のため、(学 05) 日本女子大学前行（直行）は運行しておりません。）

☆東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅（3 番出口） 徒歩：約 8 分

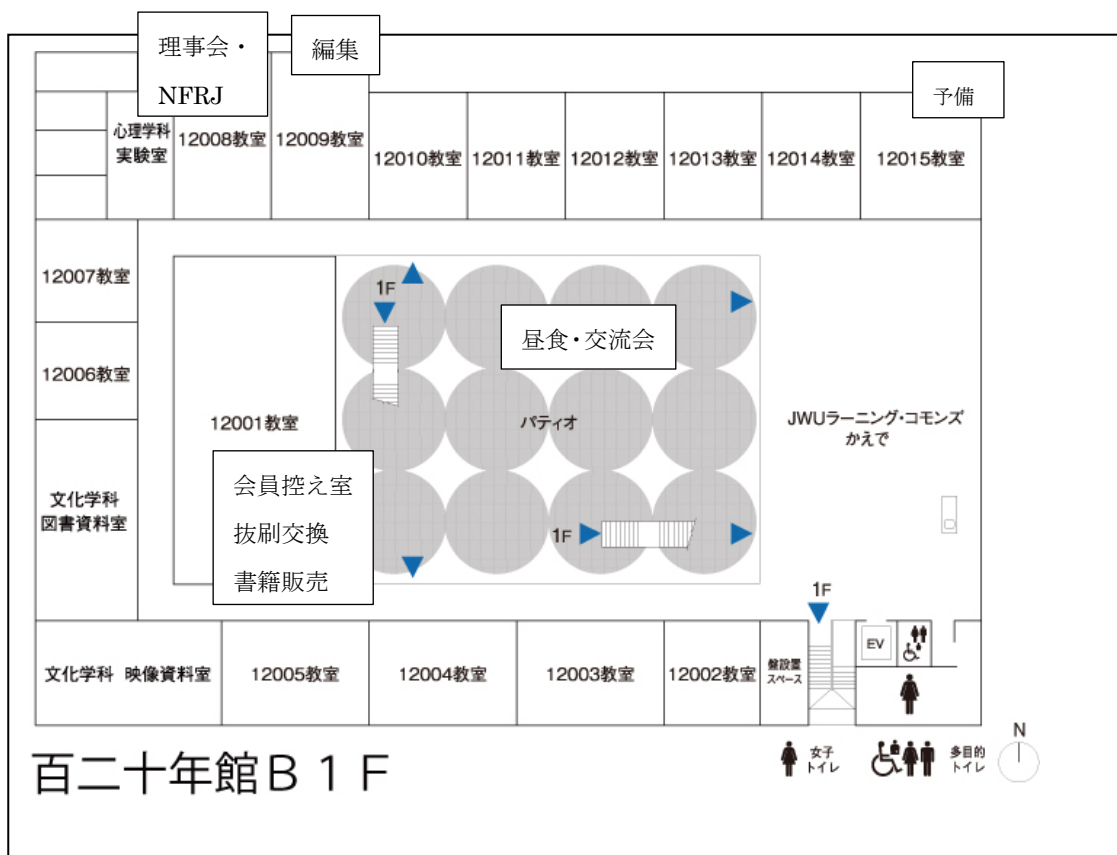
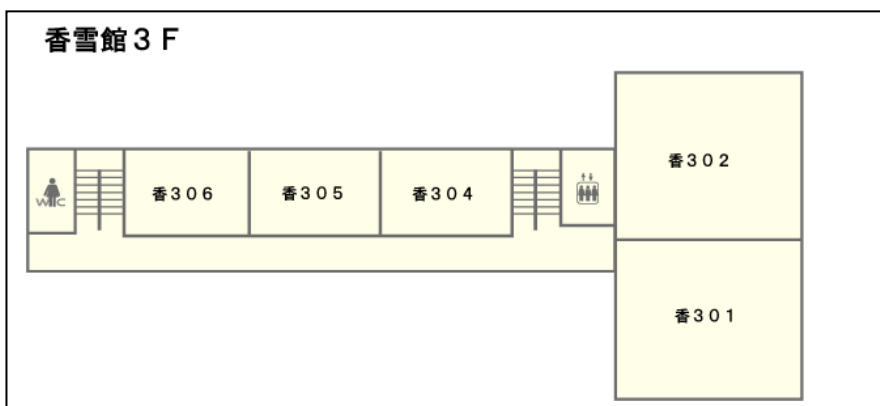
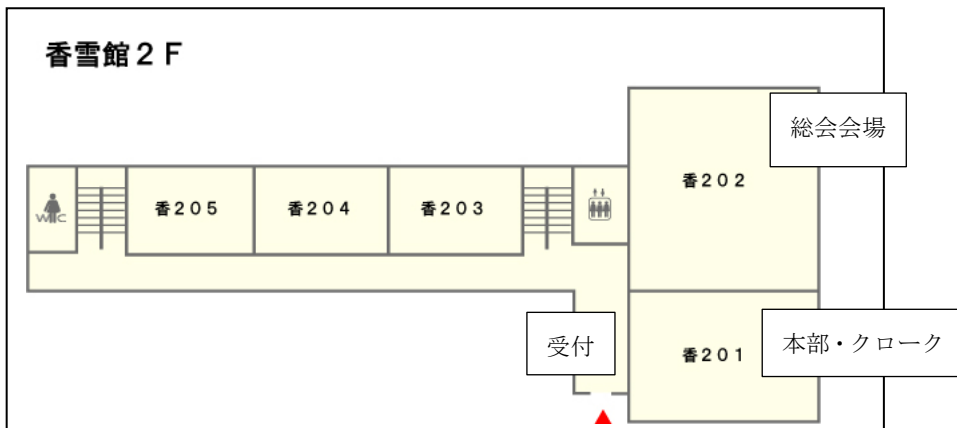
☆東京メトロ有楽町線「護国寺」駅（4 番出口） 徒歩：約 10 分

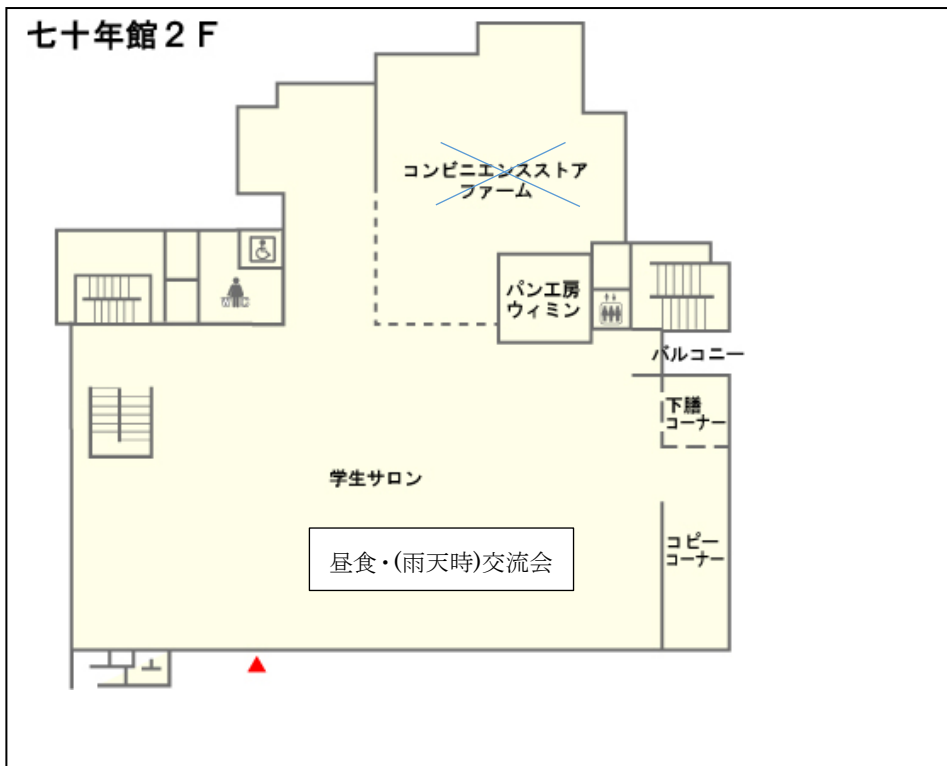
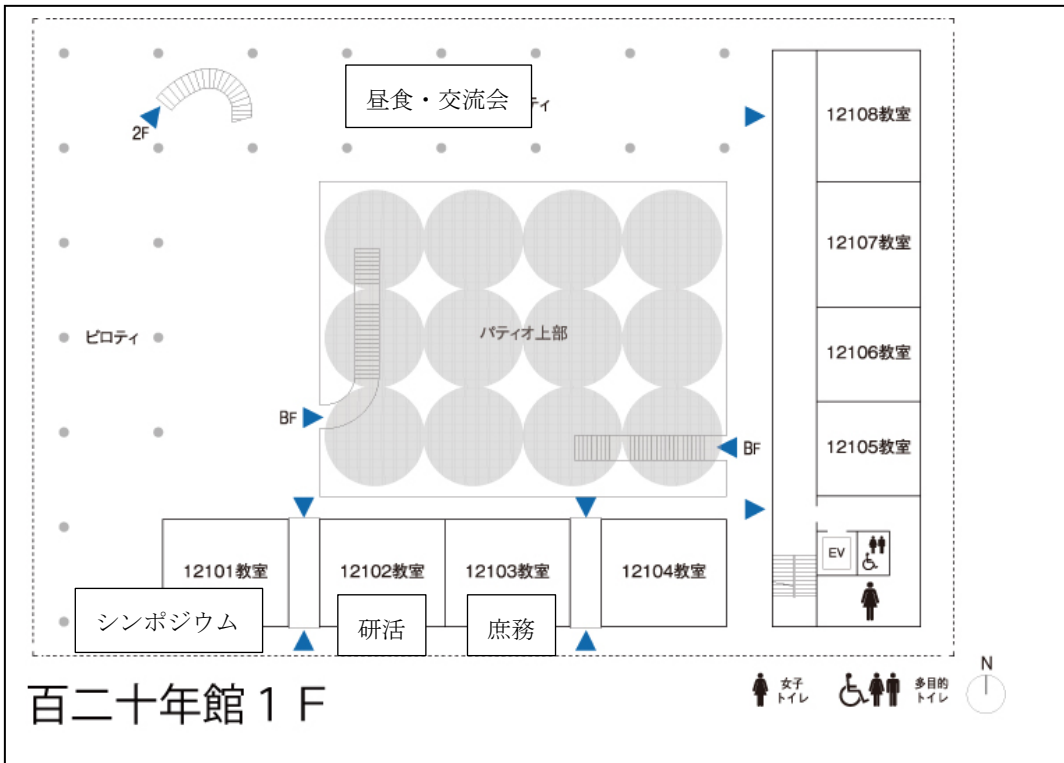
★お車でのご来校はご遠慮ください





会場案内





**【大会実行委員】**

実行委員長：永井暁子

実行委員：大澤朋子、大日義晴、野辺陽子、林浩康

最新刊

パツハー・アリス 著

「したいけど、めんどくさい」

——日本のセックスレス現象を社会学する——  
性的コミュニケーションの困難性とその意味や価値を考える。

山西 裕美 編著

揺れる子どもの最善の利益

——東アジアの共同養育——  
離別後の共同親権について、東アジアの事例を紹介しつつ検討。

菊地夏野・堀江有里・飯野由里子 編著

クイア・スタディーズをひらく2

——結婚、家族、労働——  
クイア・スタディーズの現在地を知るためのシリーズ第2巻出来。

大森 美佐 著

現代日本の若者はいかに

「恋愛」しているのか

——愛・性・結婚の解体と結合をめぐる意味づけ——  
若者たちの恋愛への意味を探る恋愛研究最前線。

寺村 絵里子 著

女性の仕事と日本の職場

——均等法以後の「職場の雰囲気」と女性の働き方——  
職場の雰囲気という新たな着眼点から検証する。

杉野 衣代 著

居住支援の現場から

——母子世帯向けシェアハウスとハウジングファースト——  
新たな住まいの支援から日本の貧困問題に迫る。

伊藤 康貴 著

「ひきこもり当事者」の社会学

——当事者研究×生きづらさ×当事者活動——  
自己探求とフィールドワークによる社会学的試み。

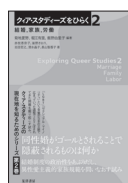
288頁 3520円



206頁 3520円



252頁 2530円



228頁 4180円



206頁 4510円



220頁 5390円



320頁 3080円



晃洋書房

〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町七番地  
TEL 075 (312) 0788 / FAX 075(312)7447

※表示価格は税込

# 家族変動と子どもの社会学 (仮題)

野辺陽子 編・著 2022年11月上旬刊行予定 四六判並製・(予価) 本体 2300円+税

家族変動と子どもをめぐる理論的・経験的研究をさらに展開させるべく、離婚、第三者が関わる生殖技術、児童養護施設、児童虐待を事例に子どものリアリティと子どもをめぐるポリティクスを明らかにし、家族の個人化やそのもとに議論されてきた多様な親子関係・ケアの議論について新たな論点を付け加える挑戦的な書。

元森絵里子・野田潤・日比野由利・三品拓人・根岸弓・野辺陽子共著。

第5回福祉社会学会学術賞、第18回日本社会学会奨励賞、第2回家族社会学会奨励著書賞受賞

# 養子縁組の社会学 <日本人> にとって <血縁> とはなにか

野辺陽子 著

A5 上製・384頁・本体 4500円+税

いま、「非血縁親子」になにが起きているのか? 「日本人は血縁を重視する」という巷の議論と、「重視しない」という社会学・人類学での議論との二項対立がもたらす混乱を、先行研究、制度分析を通して徹底的に整理するとともに、不妊当事者、養親、養子など、50人を超えるひとびとの声を多数紹介し、「血縁」が現実の場面でのどのように使用されるのか、そのリアリティに迫る。「血縁」をめぐる家族・親子からみる、新しい時代の画期的な家族社会学の誕生。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-9  
TEL 03 (3264) 4973 FAX 03 (3239) 2958

新曜社

表示価格は本体価格です。  
<http://www.shin-yo-sha.co.jp/>

最新刊

# ジェンダー格差大国ニッポン

生きづらさも解消する

夫の「モヤモヤ」

壊すことは男性の

男性稼ぎ手社会を

男性の家事・育児参加

なかなか進まない

妻の「イライラ」



ジェンダー平等に向けた

本気の働き方・暮らし方改革を!

# ジェンダー

で読み解く

# 男性の働き方・暮らし方

関西大学文学部教授 **多賀 太** [著]

◆ 四六判並製 / 256頁  
◆ 定価: 1,980円 (税込)

ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために

## 男性が家庭や地域生活を犠牲にして働く社会はおかしくないか!?

本書には、自分自身の働き方や暮らし方、家族や職場の同僚との関係をよりよいものにしていくための手がかりや、一人一人がワーク・ライフ・バランスの取れた生活をしながら社会が持続可能に発展していくためのヒントが具体的に分かりやすく示されている。そして、これまでの男性のあり方を単に批判して終わるのではなく、私たちの社会を、男女がウィンウィン (win-win) の関係になりながら持続可能に発展していく社会、性別にかかわらず誰もが希望を持ってよりよく生きられる社会にしていくために、男性たちには何ができるのか、というポジティブな視点からのさまざまな提案も試みている。広く男性諸氏はもちろん、子育て世代にはぜひ夫婦で一緒に読んでほしい。

【著者紹介】

**多賀 太** (たが・ふとし)

関西大学文学部教授

1968年、愛媛県宇和島市生まれ。九州大学教育学部卒業後同大学院に進み、1999年、「男性のジェンダー形成に関する研究」で博士(教育学)を取得。九州大学助手、久留米大学助教授、関西大学准教授などを経て、2009年から同教授。専門は、教育社会学、家族社会学、ジェンダー学。

【主な内容】

- 序 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)
- 第1章 男性稼ぎ手社会の終焉
- 第2章 ジェンダー平等の実現に向けて求められる男性の「ケア」労働
- 第3章 母親の「イライラ」と父親の「モヤモヤ」——「イクメン」ブームの功罪
- 第4章 家庭教育と父親役割のインフレ現象
- 第5章 ハラスメントのない職場づくりに男性はどう関わるか
- 第6章 社会を挙げてドメスティック・バイオレンス (DV) と虐待を防止する

\* コチラからご購入いただけます!

Amazonでのご購入



Rakutenでのご購入



紀伊國屋書店でのご購入



【内容に関する問い合わせ】

時事通信出版局 営業企画部

Tel.03-5565-2155 mbook@book.jiji.com

<https://bookpub.jiji.com>